
トモダチ関係 ((前編

YuMi

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

トモダチ関係 (前編)

【コード】

N5636V

【作者名】

Yumi

【あらすじ】

自分の実体験をそのままに書いた小説の前編です。

投稿拒否寸前だった前の自分から、

楽しい学校生活を送っている今の自分までを書きました。

前編（前書き）

他の小説投稿サイトにも投稿させて頂いています。

前編

小6の春がきた。

自分の心の中では、「学校とか行きたくないし。」っていう気持ちと、

「学校行かずに登校拒否とかなったら親に顔上がらないしなあ」「って気持ちが

5分5分なのは自分でもわかっていた。

その2つの気持ちが合わされば、素直じゃない自分が出るのもわかっていった。

「どうせ学校いっても面白くないしなあ。今日は「頭痛い」とか嘘ついて

仮病で休もう。どうせばれないだろ。」

心の中ではそんな悪知恵を働かせていた。

学校には一応きてみた。でもどうせにらまれるか無視されるだけ。相手にされただけでもうれしかったりした。

「・・・こんな自分でも、前は友達がいたのに。」

去年の10月くらいの話だ。

クラスで大体の人と仲が良かった自分がいた。

少しは悩みもあったし、友達関係上手くないかなるときももちろんあったが、とにかく充実した学校生活を送っていた。

だが、ある日の一言で、自分の学校生活は大きく変わった。

「・・・ゆみってさ、なんかうざいよね。」

自分を友達が避けていることがすぐわかった。

他の友達も、少しずつ自分から離れていき、自分を睨んだり無視するようになった。

その中でも、一番信頼していて、仲が良かったMまでもが離れていったことが

自分が一番ショックを受け、つらくなった。

「Mと自分の関係は、こんなにうすつぺらいものだったんだ。」
初めて友達をなくすつらさを実感した。

でも、Mとだけは、友達関係を前に戻したい。そう思っていた。

Mといるだけで楽しくて、嬉しくて、笑顔あふれて・・・
思い出すだけで、笑顔になれる。そんな生活をもう1回送りたいと思ったからだ。

そう思いながら、知らないうちに、約半年が過ぎていた。

ある夏の日。

自分は、いつもと同じで、自分の席で、1人で自由帳に絵を描いていた。

「ねえ、ゆみ。」

いつもは話かけられない自分だから、びっくりして、上を向いた。
それはMだった。なぜかいつものものにらみ顔ではなく、小さい目を大きく開けている。

「ん、どしたの?」

「そのキャラクター、すきななの?」

急な質問だった、自分は戸惑ってしまった。

「……ん、すきだよ。」

心の中では、Mに話かけられてすごく嬉しかった。

「へえ、そうなんだあ、あたしも結構好きだよ。」

Mとの共通点を見つけられた。

「このキャラ、可愛いしキャラクターソングが特にすきなんだ。」

「へえ、そうなんだ。結構趣味とか合うね。」

自分は、共通点が見つかった今、もう1回仲良くなる機会だと思っ
て、

色々と、積極的に話してみたが、話題はその話だけ。

それ以外の話題も見つからず、Mも話飽きたような様子だった。

でも、そのあとの休み時間は、放課後までずっとMの机に自分から
いって、

色々と話してみたり、頑張ってみた。

放課後も、勇気を出して一緒に帰ろうとさそい、一緒に帰った。

他にも、好きなアニメなどの共通点もあり、いろんな話をたくさん
した。

こんな近くで、Mの笑うトコロを見られるのは久しぶりで、とても
うれしかった。

Mと道が分かれて、1人になってから、考え事をしていた。

「Mと仲良くなったんだから、明日からは楽しい毎日を送れるぞ。」
そう考えるだけで、嬉しくなった。

次の日、「今日はMと話しながら、一日を過ごそう。絵と一緒に描
くのもいいな。」そんな事を考えながら、教室のドアを開けて、M

の方をみた。

Mは、他の女子と話していて、自分からの視線に気付いたのか、こちらを見た。

笑顔で手をふるよ、Mはこちらをにらんでいた。

続

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n5636v/>

トモダチ関係 ((前編

2011年10月9日13時33分発行